

# PBX遠隔保守キット・INSタイプをANALOGタイプへ変更のお願い

株式会社ゼブ  
TEL 092-852-1115 e-mail dmrs@xeb.co.jp

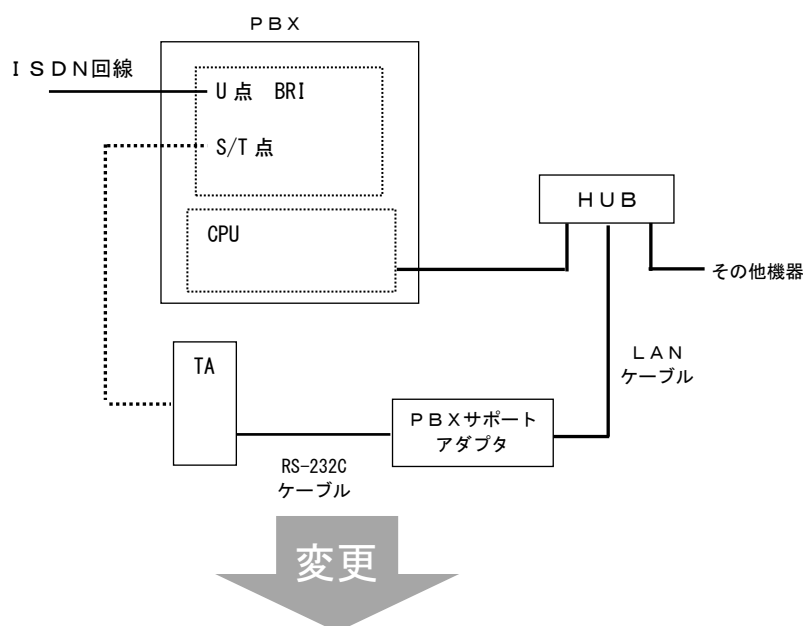
## 1. 変更理由

2024年1月からNTT東日本・西日本のISDN回線のデジタル通信サービスが無くなるためPBX遠隔保守キット・INSタイプが利用できなくなります。

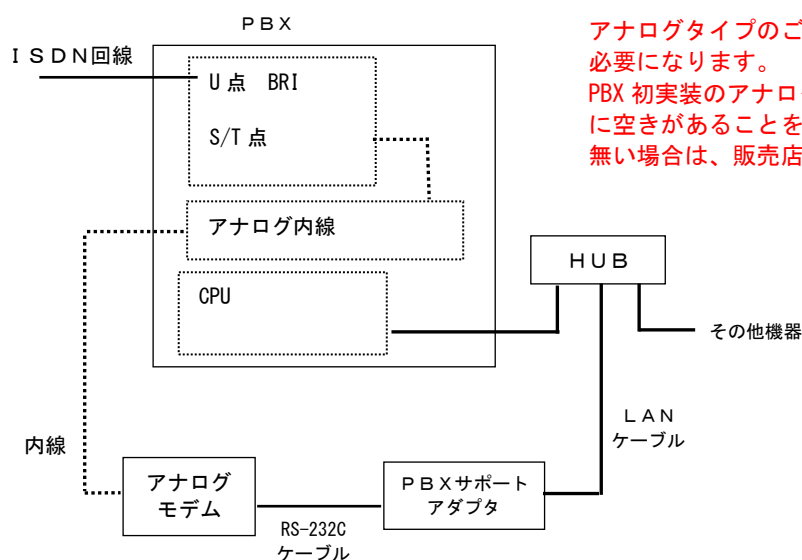
PBX遠隔保守キットをINSタイプからANALOGタイプに変更することでPBX遠隔保守を続けることができます。機器構成や回線構成を以下のように変更してください。

変更方法や変更する機器の提供方法は次ページ以降で解説します。

### ■INSタイプ接続例



### ■ANALOGタイプに変更したときの接続例

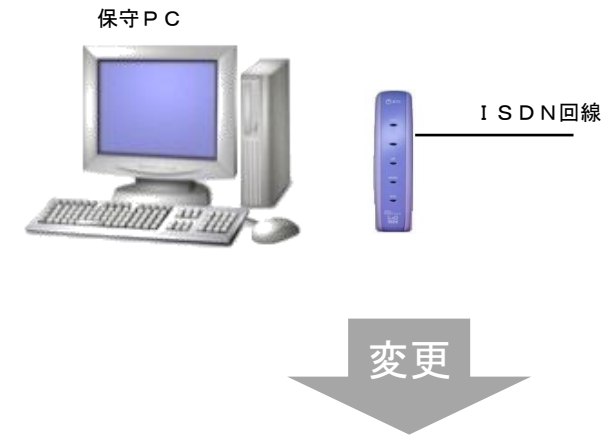


アナログタイプのご利用には、PBXのアナログ内線ポートが必要になります。  
PBX初実装のアナログ内線ポートまたはアナログ内線ボードに空きがあることをご確認ください。  
無い場合は、販売店様で別途手配をお願いいたします

※ ANALOGタイプでは外部からISDN回線に着信したとき内線に着信させる仕組みが必要です。  
「7. アナログ内線に外部から着信させる方法」を参照してください。

■ ANALOGタイプに変更したときの保守PC側（販売店）の設備

保守PC（販売店）側のダイヤルアップ設備もアナログモデムとアナログ回線にしなければなりません。



■ 保守PCで利用するアナログモデム

Windowsが認識でき、ダイヤルアップ接続で利用できるモデムであれば、多くの機種で利用できます。

PBX側がアナログタイプの場合、利用できるモデムの通信規格は、  
K56flex

ITU-T V. 92/V. 90/V. 34/V. 32bis/V. 32/V. 22bis/V. 22/V. 21

BELL 212A/103

です。

上記通信規格のうち該当すれば遠隔保守が可能です。

なるべく高速な通信規格を推奨します。K56flex ITU-T V. 92/V. 90/V. 34  
モデム機種例として、

ラトック社製 REX-C56EX

I・D・A・T・A社製 DFM-56S



があります。

USBタイプのアナログモデムもWindowsが認識できれば利用可能です。




例

I・D・A・T・A社製 DFM-56U



## 2. PBX遠隔保守キット・INSタイプ モデルによるANALOGタイプ変更方法

以下のように3つのモデルがあります。

モデル名	機器・回線構成	変更後 機器・回線構成
PBX遠隔保守キット 黒箱タイプ	PBXサポートアダプタ TA  INS ST 点	PBXサポートアダプタ モデム アナログ回線  バージョン 3.10 にバージョンアップ
PBX遠隔保守キット 白箱タイプ バージョン 2.xx	PBXサポートアダプタ TA  INS ST 点	PBXサポートアダプタ モデム アナログ回線  バージョン 3.10 にバージョンアップ
PBX遠隔保守キット 白箱タイプ バージョン 3.00	PBXサポートアダプタ TA  INS ST 点	PBXサポートアダプタ モデム アナログ回線  バージョン 3.10 にバージョンアップ

※ 3.10 にバージョンアップします。「8. バージョン 3.10 の機能」をご参照ください。

変更方法は、ゼブよりANALOGタイプ（PBXサポートアダプタ + アナログモデム）をお送りします。現地で交換していただき、INSタイプ（PBXサポートアダプタ + TA）をゼブにご返送ください。（詳細は次ページをご参照ください。）

## 3. PBX遠隔保守キット・ANALOGタイプ変更費用

お手数ですが、ゼブまでお問合せください。TEL 092-852-1115 e-mail dmrs@xeb.co.jp

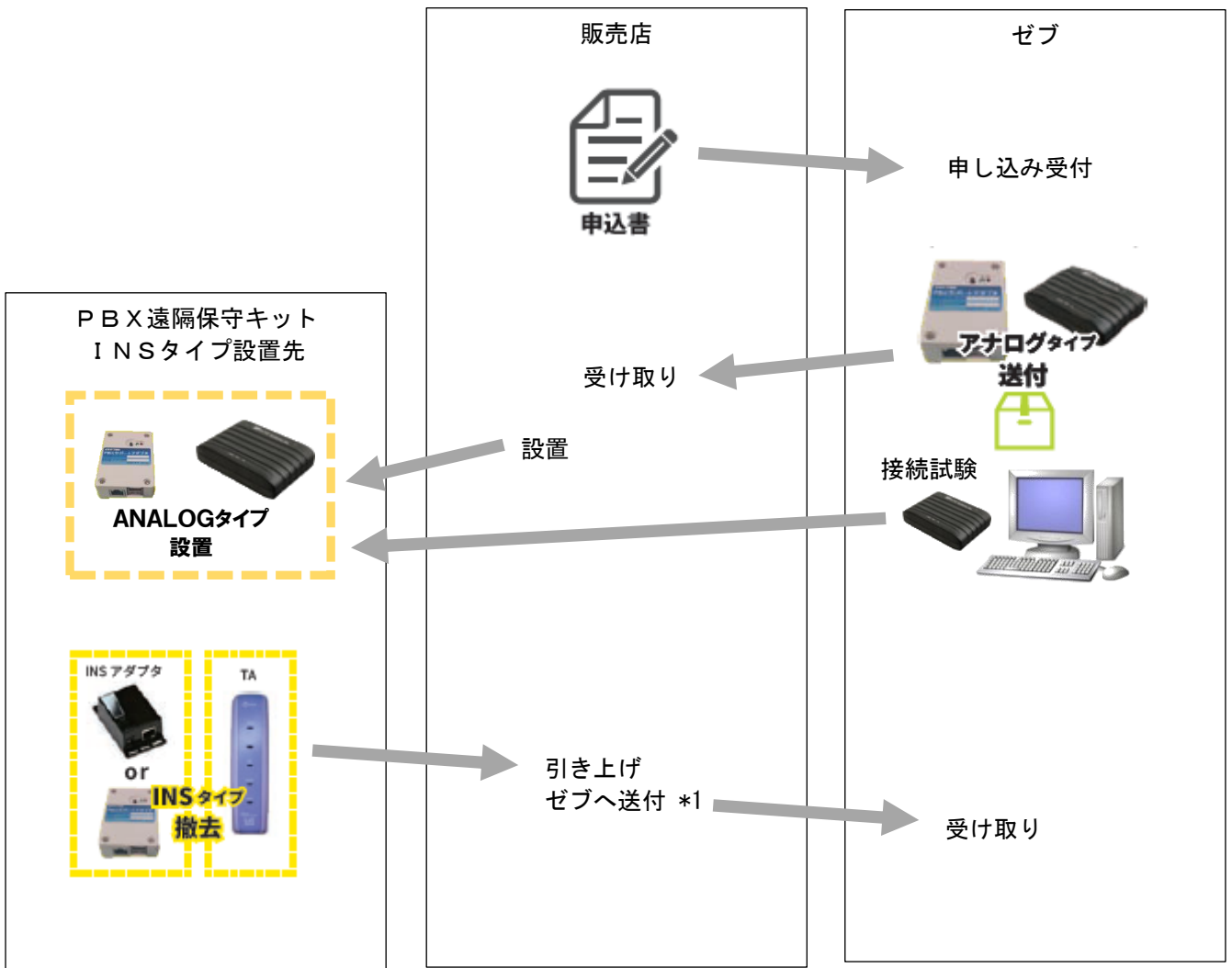
## 4. 製品保証

1年間保証を行いません。

## 5. PBX遠隔保守キット・ANALOGタイプ変更申し込み方法

「9. PBX遠隔保守キット・ANALOGタイプ変更申込書」をご参照ください。FAXまたはメールでお申し込みください。

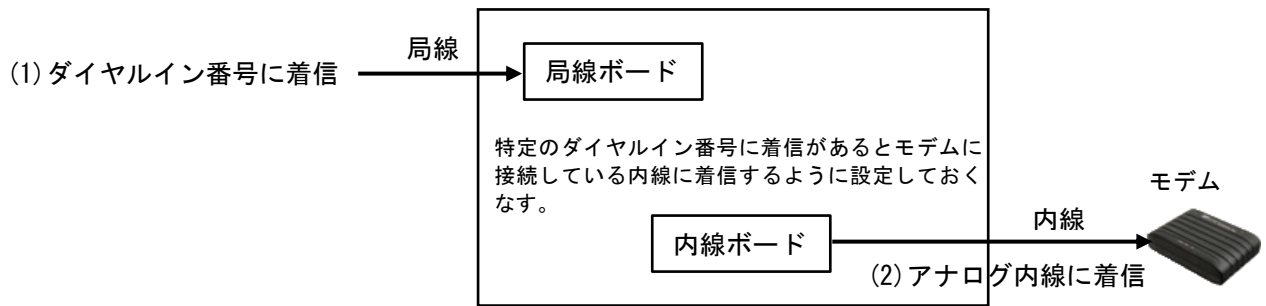
## 6. PBX遠隔保守キット・ANALOGタイプ変更 申し込みから設置・試験まで



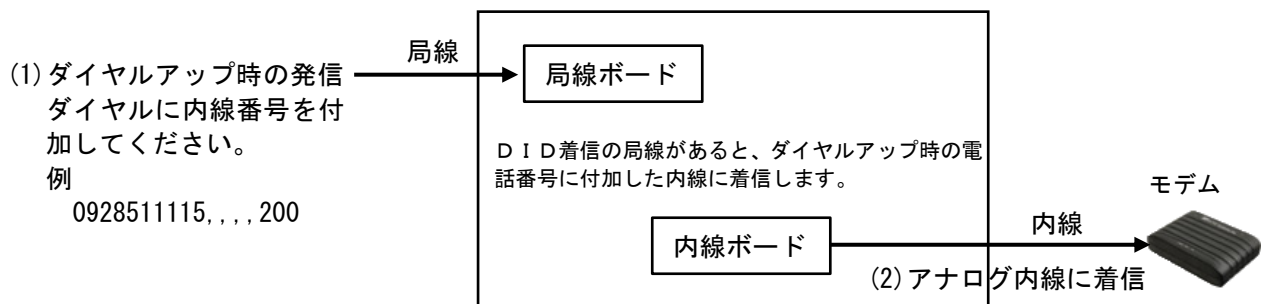
\*1 INSタイプのゼブへの送料は、販売店負担をお願いします。

## 7. 外部からアナログ内線に着信させる方法

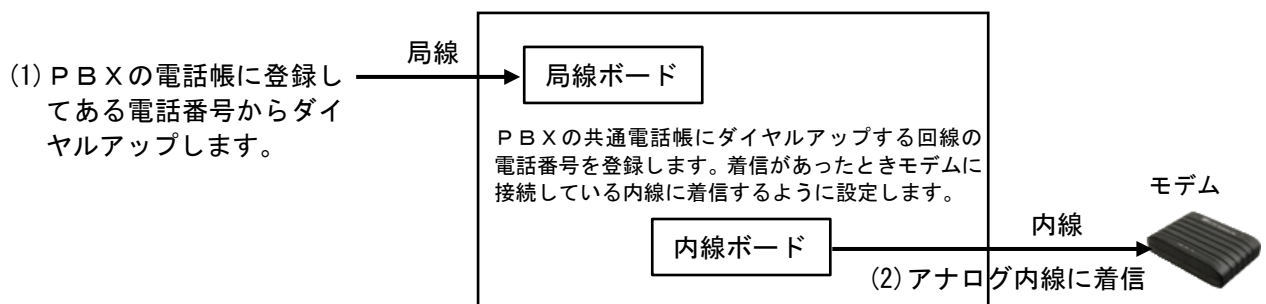
### 7.1 ダイヤルイン番号着信



### 7.2 DID着信



### 7.3 特定発信元をアナログ内線に着信



【注意】 P B Xがダイヤルアップ発信する回線の電話番号が取得できる環境が必要です。

例

ダイヤルアップ発信する回線は I S D N回線経由のアナログ回線

または光電話回線経由のアナログ回線

P B Xの電話回線も I S D N回線または光電話直収（またはGW・番号通知あり）

## 8. バージョン 3.10 の機能

いままでの機能は継承しています。

### ■PBXの遠隔保守

保守PCからダイヤルアップ接続すると保守PCがPBXと同じネットワーク（LAN）として接続し、保守コンソールによる保守を行なうことができます。

### ■情報の遠隔収集

保守PCにPBXや周辺機器の各種情報を収集することができます。

### ■他機器のメンテナンス

遠隔保守キットのLAN上の機器がWeb保守できる場合、保守PCのWebブラウザで保守することができます。

### ■LAN上機器とのTCP/IP通信

遠隔保守キットのLAN上の機器とTCP/IP通信で情報のやりとりができます。

以下の新しい機能を追加しています。

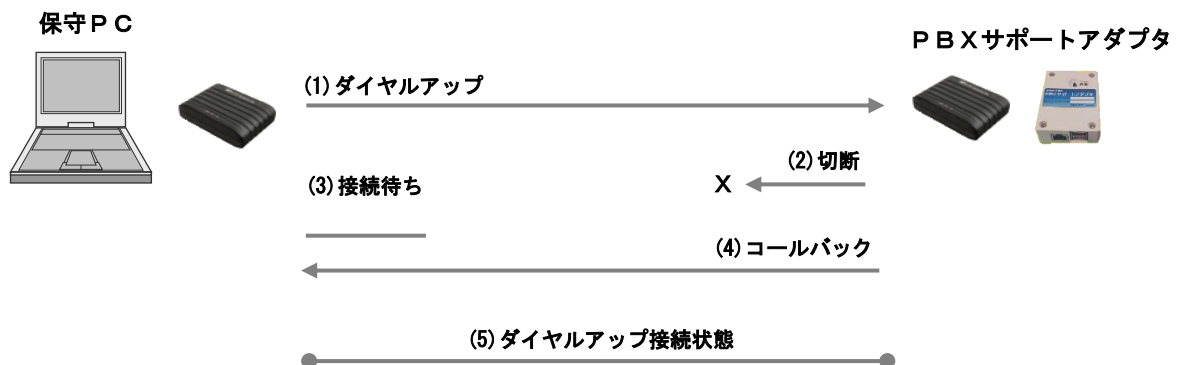
### ■コールバック接続

保守PCからPBXサポートアダプタに接続するとき、ダイヤルアップ接続すると、一旦切断し登録電話番号にコールバックして接続しなおします。

これによりセキュリティが向上します。

コールバックを「する」「しない」は選択することができます。

保守PC側はWindowsのダイヤルアップで行なうと以下のコールバック接続を行ないます。



## 9. PBX遠隔保守キット・ANALOGタイプ変更申込書

FAXまたはメールでお申し込みください。

■ FAX申込書 送信FAX電話番号 092-852-1884

申し込み日	年 月 日
会社名	
フリガナ	
部署名	
担当者名	
電話番号	
FAX番号	
連絡先電話番号	
メールアドレス	
送付先住所	〒

■ メール 送信メールアドレス [dms@xeb.co.jp](mailto:dms@xeb.co.jp)

以下のテンプレートをご利用ください。

申し込み日：  
会社名：  
フリガナ：  
部署名：  
担当者名：  
電話番号：  
FAX番号：  
連絡先電話番号：  
メールアドレス：  
送付先住所：〒